



第4期：平成24年度事業報告

平成24年4月1日～平成25年3月31日



目 次

I. 経緯	2
II. 実施事業	3
(1) 障害者福祉サービス介護保険に係る事業	
1. 障害スポーツに関する研究・普及ならびに支援事業	3
1-1. 障害者スポーツ団体組織化および運営支援事業	
1-2. 障害者スポーツ研修会・大会への参加	
2. 障害者（児）および高齢者のデイサービス事業	4
2-1. 日中活動系サービス事業	
2-2. 放課後等デイサービス事業	
2-3. 日中一時支援事業	
2-4. 介護保険通所介護・介護予防通所介護事業	
2-5. 居宅介護支援事業	
3. 障害者スポーツ用品製作及び販売	10
3-1. 障害者スポーツ用品の試作・製作	
4. 障害者（児）および高齢者の居宅訪問介護サービス事業	10
4-1. 居宅介護事業	
4-2. 訪問介護事業	
5. 障害者ならびに障害者についての啓発に関する事業	11
5-1. 講師派遣事業	
5-2. 全身性障害者移動介護従業者養成研修	
6. 障害者自立支援法に基づく移動支援事業	12
6-1. 移動支援事業	
III. その他の社会貢献	13
(1) 介護等体験実習生の受け入れ	
(2) ボランティアの受け入れ	
VI. 法人の運営に関する事項	13
(1) 平成24年度理事会・評議員会の開催	

I 経緯

平成 16 年 2 月 17 日に特定非営利活動法人の認証を受け名称をアス・ライフサポートとしてスタートした。平成 16 年 7 月に支援費制度（当時）および平成 16 年 8 月に介護保険事業を開始、制度の変遷の波にもまれながら、独自の障害者支援の道を歩んできた。

平成 20 年 2 月 4 日に第 1 回社会福祉法人アス・ライフ設立準備委員会を開催し、4 回に亘る準備委員会を重ねて平成 21 年 7 月 8 日に山口県から社会福祉法人の認可を頂いた。

翌年に山口県及び山口市の施設整備補助金を受け、念願であった施設建設工事（駅通り）を行い平成 22 年 2 月 26 日に竣工した。

施設の完成により、全ての事業を平成 22 年 4 月 1 日付けにて NPO 法人から社会福祉法人アス・ライフに継承し、新設施設（駅通り）に障害者自立支援法（当時）による障害者福祉サービス事業の生活介護・機能訓練・生活訓練事業所を多機能型アス・ライフとして移転した。

平成 23 年度には中園町にある児童（放課後等）デイサービスフォア・アスが山口県の基盤整備補助金を受けて全面改装し、バリアフリー化した。

平成 24 年度は多機能型アス・ライフ（駅通り）に、就労移行支援事業所を追加し、4 月より 6 人定員でスタートした。1 年目ながら 3 名の利用者を就労に結び付ける等の成果を残すことができた。

また同年 12 月には介護保険通所介護事業所大市デイサービスセンター及び訪問・居宅・重度訪問介護事業所アス・ヘルパーステーションを新築移転した。それに伴い居宅介護支援事業も新規開設した。平成 24 年度は高齢者の介護保険部門においては基盤を固めることが出来た年度といえる。

スポーツ支援では、日中活動系サービスでの練習機会の提供、ガイドヘルパーによる練習や大会参加の支援を積極的に行った。また、山口県から車椅子 4 台積載の車両を頂きスポーツ、講演活動等にこれまで以上に活動をすることが出来るようになった。

収支面では、今年度、区分 5・6 の利用者増加により第 4 期も経常ベースで黒字決算となった。

障害や高齢であっても生き生きと生活していくことを支えるというアス・ライフの理念を将来にわたって実現するため、まだまだ経営の改善に取り組んでいく所存である。



社会福祉法人アス・ライフ 本部
平成 22 年 2 月 26 日竣工



大市デイサービスセンター
アス・ヘルパーステーション



大市デイサービスダイルールの様子

II 実施事業報告

(1) 障害者福祉サービス・介護保険に係る事業

1. 障害者スポーツに関する研究・普及ならびに支援事業

1-1

事業名 障害者スポーツ団体組織化および運営支援事業
概要 山口県ボッチャ協会、事務局を山口市駅通り1-3-10アス・ライフ内に設置しており、毎週金曜日及び毎月第3火曜日の夜に強化練習を実施するなど、期を通して運営の支援を行った。



1-2

事業名 障害者スポーツ研修会・大会への参加
概要 以下のスポーツ大会への障害者の参加を支援した。

- ・第12回キラリンピック大会
平成24年5月20日 維新百年記念公園・山口きらら博記念公園他各会場
- ・第12回全国障害者スポーツ大会岐阜清流大会
平成24年10月13日～15日 岐阜メモリアルセンター長良川競技場他各会場
- ・日本ボッチャ選手権予選大会
平成24年10月26日～28日 大阪市舞洲障害者スポーツセンター
- ・第12回キラリンピック大会球技の部
平成24年10月28日 維新百年記念公園スポーツ文化センターアリーナ
- ・山口県障害者交流卓球バレー大会
平成24年12月16日 維新百年記念公園スポーツ文化センターレクチャールーム
- ・日本ボッチャ選手権
平成24年1月25日～27日 大阪市舞洲障害者スポーツセンター
- ・第9回山口県障害者交流ボッチャ大会
平成25年2月24日 維新百年記念公園スポーツ文化センターアリーナ
- ・山口県障害者フライングディスク交流大会2012
平成25年3月9日、山口県きらら博記念公園多目的ドーム
- ・その他各大会各競技において、定期練習、合同練習、強化練習の支援を期を通して行った。



2. 障害者(児)および高齢者のデイサービス事業

2-1

事業名 日中活動系サービス事業

概要 障害者自立支援法に、日中活動系サービスとして位置づけられる「生活介護：定員 25 名」「機能訓練：定員 12 名」「生活訓練：定員 6 名」、「就労移行支援：定員 6 名」及び、日中一時支援のサービスをアス・ライフで行った。

月～土曜日のサービス提供、祝祭日もサービス提供を行った。(年末年始の休業は 12 月 30 日～1 月 3 日) 社会福祉法人となって 3 年目となり、新規利用者、実習生 (13 名受入) も増え、活発な事業展開をすることができた。

利用者一人ひとりに合わせた、利用者が主体となる支援を心がけ、様々な体験、活動の機会を提供した。また、就労移行支援以外の部門での生産活動の機会、工賃収入の獲得を目標に、利用者、家族会と話し合い、製品の試作を重ね、25 年度の本格的始動に向けての足掛かりを作ることができた。

年間行事の主なものとして、花見 (4 月 9、10、12、13、14 日)、りんご狩り (9 月 28 日、10 月 4、10 日)、クリスマス会 (12 月 19～25 日)、初詣 (1 月 7、8、10、11、12 日) 等を行った。



利用者数 登録利用者数 (平成 25 年 3 月現在)

- ・生活介護： 49 名
- ・機能訓練： 2 名
- ・生活訓練： 5 名
- ・就労移行： 8 名
- ・自費： 1 名
- ・合計： 65 名



述べ利用者数 (平成 24 年 4 月～25 年 3 月、事業日数： () 日、単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	346	369	341	350	337	342	348	344	325	330	332	366	4,130 (4,222)
機能訓練	42	45	43	29	28	21	29	28	21	19	20	12	337 (814)
生活訓練	0	3	18	27	25	16	30	35	28	33	26	28	269 (36)

就労移行	48	67	81	96	80	93	92	94	87	68	62	114	982 (0)
生活介護 自費利用	5	2	5	3	4	4	4	1	2	2	5	3	40 (34)
合計	441	486	488	505	474	476	503	502	463	452	445	523	5,758 (4,190)

※（ ）は前年（平成23年4月～24年3月）実績

日中一時支援事業

利用者数 登録利用者数（平成25年3月現在）

・日中一時： 12名

のべ利用回数（平成24年4月～25年3月）

（単位：名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
58	68	71	84	82	69	84	80	70	55	77	84	882 (455)

※（ ）は前年（平成23年4月～24年3月）実績

2-2

事業名 放課後等デイサービス事業

概要 就学している障害児の放課後支援の受け皿が不足しているため保護者・家族が非常に困窮している状況を少しでも解消し、障害児が適切な療育を受ける機会を提供するため、放課後等デイサービスの事業を行った。



利用者数 登録利用者数（平成25年3月現在）

60名（男子41名、女子19名）

のべ利用者数（平成24年4月～25年3月、事業日数：（309日）（単位：名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
254	273	275	281	250	265	288	264	239	231	245	270	3,135 (2,901)

※（ ）は前年（平成23年4月～24年3月）実績

2-3

事業名 日中一時支援事業（児童）

概要 とくに学校の長期休業中には、就学障害児の預かりニーズが高くなる。通常の放課後等デイサービスの定員で受け入れできなくなるケースについて、放課後等デイサービス「フォア・アス」で日中一時支援による預かりで対応した。

利用者数 登録利用者数（平成25年3月現在）

59名（男子37名、女子22名）

のべ利用回数（平成24年4月～25年3月）

（単位：名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27	5	10	35	43	30	17	20	33	16	21	46	303 (406)

※（ ）は前年（平成23年4月～24年3月）実績



支援報告

4月当初は、新しい学齢児が例年に増して利用することとなった。自閉症児の割合も一段と高くなり、新しい環境の下、子どもたちが施設になれることが急務であった。異年齢の子供たちが同じ空間で活動するためには、一人ひとりの子どもの個性（特性）をしっかりと把握し、支援することが必要不可欠であった。

4月の中旬には、新しい子どもたちのケース会議を行い、支援の方法や配慮すべき事項などを共通理解することに努めた。月例時には、他の利用者のケース会議にも重点を置き計画的に行った。

長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）及び土曜日も、多くの子どもたちが利用し、日ごろの放課後活動とは違って、活動内容も多岐にわたった。具体的には、河川プールや身障者センターのプール、維新児童公園、大歳公園、小鯖運動公園、美東道の駅の運動公園、仁保道の駅の大型遊具などの外遊び、各ドラッグストアや百元ショップ（コスモス、ダイソー、メディコ21）などの買い物体験、夏休みのカレー作り週間、夏祭り週間、など多くの活動を行った。雨天時の場合は屋外活動が制限されるので「ゆめタウン」への買い物活動も実施した。日々の生活を大切にしながら、子ども一人ひとりが支援を受け積極的に取り組む姿勢は、必ず一人ひとりの生活力を高めていくものとする。

問題点及び課題

(1) 放課後等デイサービス事業

- ① 常時、利用児童の定員は、十分に確保できている。年度当初から次年度の利用予約を伴う見学者が多く、受け入れ困難な状況であった。(年度末現在21名の見学者があった。) 待機児童が7名に及んでいる。
- ② 施設の手狭さが、活動したい内容と、それを保障するスペースを構造化し、子どもの活動をスムーズにすることが困難であった。
- ③ ②とも関連するが、他からの刺激を過敏に受ける子どもが多く、活動支援の効果がそがれることが多かった。特に聴覚過敏のある子どもや、行動障害傾向(破壊行動、他傷行為)の強い年長児については、他児への影響に苦慮している。
- ④ メリットとしては、他児の活動を妨害することが、相手の気持ちをマイナスにすることを体験し、順番を待つことを覚えたり、他者との折り合いの付け方を学習し、SSTを高めることに繋がることもある。
- ⑤ いろいろな障害をもった子どもたちが沢山利用している。基本的な障害の特性を支援者が理解をし、特化した支援方法を支援者全体で高めていき、専門性の高いサービスをする必要がある。気をつけなくてはならないのは、障害の種類でひとくくりをするのではない。一人の子ども(人として)の必要な支援を心がけることが必要。

一昨年に施設内の大改修・増築工事が完了し、施設全体をバリアフリー化し、トイレの改修増設、フロアの段差解消、各活動コーナーの設置、更衣室の設置、個人ロッカーの設置、調理活動の日常化に伴うIH化したシステムキッチンの導入などを図った。一年間を経過した状況は、利用しやすくなり、子どもたちも自分の興味や関心のあることに熱中することができている。(トイレの

定時

排尿支援、DVD視聴の個別ブース化により、取り合いが少なくなり情緒安定に繋がっているなど。)

- ⑥ 自閉症児の有効な支援方法の開発を、さらに進めることが重要。
 - ・小学校低学年児童
 - ・高学年児童
 - ・中学校生
 - ・高校生(生活年齢にも配慮する支援など)

(2) 日中一時支援事業

- ① 児童デイサービス事業と同じく、希望者が増加傾向にある。職員を配置することが困難な場合が多い。
- ② 報酬単価が低く、職員を配置しにくい。

研修会・見学等

- ① 社会福祉法人新人職員研修会 該当者なし
- ② 児童障害者福祉施設中堅職員研修会 1部 9月8日、9月18日
- ③ " 2部 11月21日、22日
- ③ 山口市自立支援協議会〔定例会議〕 山口市地域支援協議会

- ⑤ 〃 障害児部門会議
- ⑥ 生徒に係る連絡会 山口大学附属特別支援学校 10月、3月
- ⑦ 発達障害理解促進セミナー 9月
- ⑧ 山口総合支援学校教員 利用児童のデイ活動見学 2回

保護者会

- ・事業の経過報告と中期ビジョンについて 11月、3月
- ・第5回お餅つき会の支援について
- ・教材費一括徴収の廃止など

2-4

事業名 介護保険通所介護・介護予防通所介護事業

概要 訪問介護ステーション・通所介護サービス・居宅介護支援サービスを同事業所で行うことで一体化するとともに情報の共有化スピード化を図りより適切な介護支援が出来るようにした。

利用者の状況やご家族の意向を的確に把握し対応する事で、ご本人の生活や機能維持向上を図るとともにレスパイトケアに結びつくよう対処する。また、商店街に近い立地状況を使い利用者に日々の生活・季節感・社会生活・交流が出来るよう計らう。



今後の高齢化社会を鑑み障害者福祉サービスのアス・ライフとの連携も視野に入れ障害者の高齢化要介護に適応できるよう連絡をとる。

近隣高齢者や地元地域住民との交流も考慮し季節ごと、もしくは年間恒例行事等地域貢献も積極的に立案・実行してゆく。

年間行事

1) レクリエーション

- H24年4月17日 花見（徳佐八幡宮）
- 7月25日・27日・28日 そうめん流し
- 10月3日・9日 りんご狩り（徳佐中尾りんご園）
- 12月19日・21日 クリスマス会
- H25年1月16日・18日 初詣（防府天満宮）



利用者数 登録利用者数（平成25年3月現在）

- ・介護保険通所介護 : 12名
- ・介護予防通所介護 : 6名
- ・合計 : 18名



のべ利用回数（平成24年4月～25年3月）

（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	80	75	87	100	110	104	106	90	82	87	94	102	1,117 (890)

※（ ）は前年（平成23年4月～24年3月）実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防	16	17	17	21	18	18	20	13	10	12	12	14	188 (107)
合計	96	92	104	121	128	122	126	103	92	99	106	116	1,305 (997)

※（ ）は前年（平成23年4月～24年3月）実績

2-5

事業名 居宅介護支援事業

概要 介護認定を受けた高齢者の介護サービス計画を立案し、本人の意向のもとサービス事業者を選定紹介し適切な対応を依頼し、対応状況を確認する。介護認定を受けていない高齢者の介護認定の支援をする。認知症や機能障害で介護の必要な高齢者または要介護認定者の支援をするとともに介護者（おもに家族）のレスパイトケアを行う。

40才以上の特定疾病認定者は介護保険支援の対象となり近年増加傾向にある。65歳以上は自動的に介護保険対象になり介護保険証が発行される。しかし多くの高齢者が介護認定を受けていないか認定申請方法がわからず支援を受けられないままになっている。団魂の世代が65歳以上の高齢者になりつつある今般介護サービスの需要は増加している。介護サービス事業者も新規開設している。有料老人ホームなど終身を過ごす24時間体制の介護施設もたくさん出来ているがそれぞれに一長一短があるとともに、利用者にとって過ごしやすい施設もある中、利益優先の事業所もあり、事業所の実態をよく把握し、より良いサービス提供事業者を紹介できるよう把握していくことが大切である。

利用者数 登録利用者数（平成25年3月現在）

・居宅介護支援 : 10名

のべ利用回数（平成24年4月～25年3月）

（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険									3	3	7	10	23

※（ ）は前年（平成23年4月～24年3月）実績

3. 障害者スポーツ用品製作及び販売

3-1

事業名 障害者スポーツ用品の試作・製作

概要 アス・ライフにおいて、必要とする利用者さんに適したボッチャ用具、関連用具の試作・製作を行った。

4. 障害者(児)および高齢者の居宅訪問介護サービス事業

4-1

事業名 居宅介護事業（障害者自立支援）

概要 障害者の在宅での自立生活を支援するため、山口市内外の利用者に居宅介護および重度訪問介護のサービス提供を行った。

利用者数 登録利用者数

- ・居宅介護 15名（名）
- ・重度訪問介護 1名

のべ利用回数（平成24年4月～25年3月）

・訪問介護

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
122	121	126	141	131	134	140	138	144	137	124	132	1,590 (1,518)

・重度訪問介護

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7	7	9	6	8	8	7	5	6	7	6	6	82 (89)

※（ ）は前年（平成23年4月～24年3月）実績

4-2

事業名 訪問介護事業（介護保険）

概要 高齢者の在宅での自立生活を支援するため、介護もしくは支援を要する高齢者に介護保険訪問介護・介護予防訪問介護サービスの提供を行った。

利用者数 登録利用者数

- 訪問介護： 17名
- 介護予防： 23名
- 経過的予防介護： 0名



述べ利用回数（平成24年4月～25年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	290	318	319	361	382	348	387	400	393	371	339	352	4,260 (2,773)
介護予防	112	127	114	121	136	136	160	168	139	141	131	155	1,640 (1,283)
合計	402	445	433	482	518	484	547	568	532	512	470	507	5,900 (4,056)

※（ ）は前年（平成23年4月～24年3月）実績

年間行事

1)ヘルパー会議

- H24年 5月25日 ヘルパー会議・研修（脱水について、ストーマー研修の報告）
 7月30日 ヘルパー会議・研修（困難事例等の対応技術、事例検討会）
 9月24日 ヘルパー会議・研修（認知症について）
 11月26日 ヘルパー会議・研修（感染予防研修）
 H25年 1月28日 ヘルパー会議・研修（福祉サービス従業者の心構え）
 3月25日 ヘルパー会議・研修（危機管理(事故対応・苦情対応)）

2)外部研修参加状況

- H24年 9月30日 「成年後見制度に関する研修」
 6月12日 「訪問介護計画作成・展開研修1回目」
 6月19日 「訪問介護計画作成・展開研修2回目」
 11月4日 「家族支援のための行動分析学」
 H25年 1月24日 「同行援護従事者スキルアップセミナー」
 3月3日 「医療と介護の連携」
 3月16日 「在宅における服薬の問題点」

5. 障害者ならびに障害者についての啓発に関する事業

5-1

事業名 講師派遣事業

概要 障害者に対する社会の正しい認識を高めるため、各種団体・小中学校・施設などの講演への講師派遣を行った。

5-2

事業名 全身性障害者移動介護従業者養成研修

概要 尾畑敏江氏（山口コ・メディカル学院）を



メイン講師に招き、アス・ライフで研修を実施した。全身性障害者の移動介護の知識・技能を習得した人材を育成した。今期の研修は、平成17年の第1回以来、第11回となる。平成24年度事業だが日程の関係で平成24年3月18日および3月25日（全2日間）に実施した。講習には27名の参加があり、全員が規定の全課程を修了した。今回の修了者を含め延べ214名の従事者を輩出した。



6. 障害者自立支援法に基づく移動支援事業

6-1

事業名 移動支援事業（地域生活支援事業）

概要 全身性障害者の移動支援（地域生活支援事業）を行った。

移動支援は、地域生活支援事業の一つとして障害者に提供される福祉サービスであり、事業所は利用者が居住する各市町と事業委託契約を結んでサービス提供を行う。外出時の介助が必要な障害者にとって、きわめて有意義な制度であり、アス・ライフがとくに力を入れている事業の一つである。サービス提供と従業者養成研修を合わせて実施してきたことで、行政担当者や利用者の間での認識が高まってきたものと自負している。

利用者数 登録利用者数 全身性： 35名
 視覚障害： 15名
 合計： 50名



述べ利用回数（平成24年4月～25年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全身性	64	76	75	75	60	69	89	69	73	60	78	78	866 (640)
視覚	24	35	27	32	30	28	24	30	29	31	29	38	357 (240)
知的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (2)
合計	88	111	102	107	90	97	113	99	102	91	107	116	1,223 (882)

※（ ）は前年（平成23年4月～24年3月）実績

Ⅲ. その他の活動

(1) 「介護等の体験」実習生の受け入れ

教育職員免許法の特例にもとづく山口県社会福祉協議会の依頼により、「介護等の体験」実習生を年間を通して受け入れた。

今期は、合計32名（山口大学）の実習生を受け入れ、H24.9/3～10/26の間に、アス・ライフにて3名、H24.6/11～11/9の間に大市デイサービスセンターにて29名、それぞれ月曜から

金曜まで各々5日間の実習をおこなった。

(2) ボランティアの参加

今期は、囲碁、将棋、クリスマス、もちつき大会など、47名の方がボランティアとして参加し、レクリエーションやポッチャ等のスポーツ活動の支援をしてくださった。



(大市デイサービスセンター 13名 / フォア・ア 26名 / アス・ライフ 8名)

Ⅵ. 法人の運営に関する事項

(1) 平成24年度理事会・評議員会の開催

理事会

平成24年 5月28日	第1回理事会
平成24年 5月28日	第2回理事会
平成24年 6月27日	第3回理事会
平成24年11月26日	第4回理事会
平成24年12月27日	第5回理事会
平成25年 3月26日	第6回理事会

評議員会

平成24年 5月28日	第1回評議員会
平成24年11月26日	第2回評議員会
平成25年 3月26日	第3回評議員会

特記事項

H23年度事業報告、決算報告、監査報告及びH25年度事業計画、予算案について承認。

独立行政法人福祉医療機構及び萩山口信用金庫からの借入承認。

就業規則、諸規定の改正について承認。（再継続雇用制度）

定款変更の承認。（大市センター土地・建物の基本財産計上）

平成24年度障害者就労支援特別対策事業障害者自立支援基盤整備事業の福祉車両購入についての承認。

給与規程の資格手当変更の承認。

経理規程の一部改定承認。

10周年を迎えるにあたって記念事業について

(以上)